

せいらんそう

社会福祉法人
芳香会誌
第 2 1 号
2013年3月発行



たま保育園・牛ヶ谷保育園
2園合同のお別れ遠足で、一緒にお店屋さんごっこをしてきました。

もくじ

CONTENTS

総合学習の時間を頂いて
・・・ 2
委員会トピックス
経営改善委員会
・・・ 2
福祉に魅力感じてます
・・・ 3

児童福祉施設トピックス
・・・ 4
たま保育園
牛ヶ谷保育園
二園合同行事



実施報告
頑張る人、応援します
家族で楽しい時間をどうぞ
チャレンジ雇用障害者の活躍
・・・ 5
芳香会活動報告
・・・ 6
芳香会スケジュール
・・・ 6
編集後記
・・・ 6

2011年3月11日に発生した東日本大震災において被災された皆様に、改めて心よりお見舞い申し上げますとともに、当法人も引き続き復興に向けた支援活動に取り組んでまいります。

総合学習の時間を頂いて

社会福祉法人 芳香会

理事長 宇留野 光子

みなさんは、中学生対象に「総合学習」という授業があるのをご存知でしょうか。この教科の主旨は、次の三点が主たる目的のようです。

- ①自ら学び、考え、主体的に判断し問題の解決や探究活動に取り組む態度を育てる。
- ②活動の例として、国際理解・情報・環境・福祉・健康等が挙げられる。
- ③生徒参加型の授業改善。

今回は去る平成二十四年二月十三日に、総和中学校二年生(約二〇〇人)を対象として「障害者の演奏活動と障害者への理解を深める活動」と称し、当法人関係者と視覚障害者施設の方々、古河中央ロータリークラブとの協働で実施したことを報告します。



はじめに「石岡市内にある視覚障害者施設の利用者によるバンド演奏」を実施しました。続いて「様々な障害者の生活を紹介」。「働く障害者」や「住宅街の中の一軒家で支援を受けながら生活をする障害者」、「障害者施設での様々な活動」を学び、個々の障害に応じた生活と地域との関わり的重要性を知って頂く機会となったと思います。他にも障害を持つ人々や古河市に在住する障害者数、特別支援学校について理解を得るための「障害者への理解のための学習&説明」。「働く障害者と中学生の対話」。「身体障

害者の方々による和太鼓の演奏」を実施し、盛りだくさんの内容ではありましたが、生徒の皆さんの心に焼きついた場面も多々あったことと想います。

最後に中学生の感想文から一部を抜粋してご紹介いたします。

障害を持ったひとでもあんなにすばらしい演奏ができることに驚きました。演奏の中みなさんの生き生きとした姿が気持ち良かったです。Mさん(仮名)

障害があっても私達と同じように生活したり、働いている姿を見て何があっても人は同じなんだと思いました。Iさん(仮名)

僕が交流会で思ったことは将来このような人たちを助け支えるような仕事につきたいと思いました。Tさん(仮名)

がんばれ中学生!

またお会いできることを楽しみにしています。



経営改善委員会トピックス

経営改善委員会では、各事業所の事務に精通した委員六名が、各施設の過去の決算書等を基に、法人全体、種別別、施設・事業別に収支の傾向を分析しています。

また、短期、中期で進められる事業等の資金繰りなどの提案を提供できるように進めています。大きな視点は、各

事業の経営状況・収支バランス・人件費率及び経費削減の推移を調べ、今後の経営に役立てられる資料の作成をしています。

それ以外にも、法人内事務員の会計レベルの向上に向けて、いくつかの勉強会を実施しています。去る平成二十五年二月十四日には、社会福祉法人新会計基準への移行に伴う勉強会として、「平成二十四年度最終補正・平成二十五年年度予算事務員勉強会」を実施いたしました。

今回の勉強会は、「予算作成にあたってのポイント再確認、会計ソフトにおける予算入力方法、また内部取引勘定科目ルールの周知を行い、予算作成が円滑に実施すること」を目的として、各施設の事務職員十一名の参加で実施しました。過去には「新会計基準の内容についての勉強会」も実施してきましたが、今回はより実務に即した内容(具体的な予算作成の方法や内部取引のルール等)にしたため、日々の会計業務に携わる事務職員には非常に分かりやすい学習会となったのではないかと思います。



日々の会計を担当する事務職員のレベルが上がれば、法人全体の経営改善にもつながります。

今後も経営改善委員会として、職員のレベルアップにつながるような学習会を企画し、常に社会の変化に鋭く反応できる職員育成を目指していきたいと考えています。

経営改善委員会委員長

青嵐荘路のとう舎 施設長 小倉喜市

福祉に魅力を感じています!

皆さんは福祉と聞くと、どんなイメージを持たれますか? 福祉の仕事に対する一般的なイメージは「支援される側」と「支援する側」があると思われがちですが、実際には御利用者と職員が支え合うことで成り立っています。今回は芳香会の職員の「ちよつと嬉しい経験」をお伝えすることで、福祉の魅力を少しでも感じていただきたいと思います。

暖かな手に救われて...

保育士

年長児の担任をしていたとき、卒園式間近で忙しく、園でも自宅でも仕事をしていた。ある日、私の顔を見て突然、園児が『せんせい、がんばらなくていいよ』と私の頭をなでてくれました。一瞬とても驚きましたが、その園児がなでくれた手の感触が私の頭から離れず、とても安心した気持ちになりました。今でも思い出します。お互いが支えあって成り立っていると感じることができたこの瞬間から、更にこの仕事が好きになりました。



些細な一言

介護員

忙しくて余裕がない私を見かけた先輩から掛けられた一言。「今日も元気?」とても短い、些細な言葉が私を励ましてくれました。

いつからだろう...

支援員

いつからだろう...。御利用者と自然に会話ができるようになったのは。いつからだろう...。自然に笑ってる自分があったのは。いつからだろう...。お金ではない大切な何かを見つけたのは。いつからだろう...。御利用者のおかげで大切なものに気付けたのは。



就職したばかりのころ、ある御利用者とうまくコミュニケーションが図れない時期がありました。それを見ていた別の御利用者から「○○さんは野球が好きだから、野球の話をしてみると」と助言を受け、後日野球の話をしてみると、初めの頃はぶっきらぼうな返答が戻ってきましたが、徐々に話が弾むようになり、今では野球以外の様々な話をする事ができます。困っている私を助けてくれた御利用者、これからも御利用者とともに支えあい、助け合える施設でありたいと思います。

話出来たよ!

介護員

失敗は力に変えられる

事務員

仕事で失敗し、落ち込んでいるとき、上司から「落ち込んでいるなら、次、同じ仕事で同じミスをしなれば、今回のミスは今後に活かす。」と言われ、より一層仕事に責任を持って頑張ろうと思えた一言でした。



私の天職

支援員

福祉の仕事に就いて九年。振り返れば、仕事を覚えるのに必死だった時期、責任のある仕事が増え不安とやる気が入り混じった時期、他にも様々なことを経験しました。福祉の仕事は人と人との関わりが大切であり、人は日々変化があります。それでも、時々「何も変わらない、毎日同じ仕事のほうが楽なのかな」と考えてしまうこともありましたが、けれどある時、友人に「仕事は楽しい、本気で辞めたいと思ったことは一度もない」と話をしたところ、友人はとても驚き「仕事を楽しいと感じて続けられるのは本当に素晴らしいこと」と言われて、改めて自分の仕事の魅力に気付きました。毎日変化のある中で御利用者と一緒に頑張れるこの仕事は私の天職です。



学び続ける

支援員

入浴介助のとき、御利用者に「あなたに洗ってもらおうと、とても気持ちが良いのよ」と声を掛けていただきました。学生時代に学んだ美容の授業のおかげだと感じ、どんなことでも学んで後悔することはなく、これからもたくさん勉強しようと思える言葉でした。

私にも出来るよ

支援員

御利用者から「あなたの顔を見るとホッとすよ」と笑顔で言われた時、新人の私でも役に立つことはあるんだと気付くことが出来ました。

児童福祉施設トピックス

マーケットツアー・地域で食育



たま保育園では、子どもたちへの食育指導や地域との交流を図る為、今年度初めて株式会社カスミ様が開催する『カスミマーケットツアー』に参加しました。

対象は年長児十七名で行いました。保育参観期間中でしたので、保護者の方にも呼びかけ、一緒に参加して頂きました。

朝九時二十分にカスミ結城店に到着し、栄養士の方から食の三大栄養素についてわかりやすく教わったり、DVD鑑賞をしたりと大変伝わりやすく、工夫して下さいました。



次に、買い物ゲームを行いました。三グループに分かれ、ミッションシートに書かれている食べ物を考え、レジで購入します。友だちと考えを出し合って購入した品物は、保育園にお土産としていただき、給食の食材として使用させていただきますました。

最後に、バックヤードや食品を保管する冷蔵庫にも入らせていただきました。「さむーい!」「広いねえ。」と子どもたちも感想を口にしながら普段目にすることは出来ない場所に感動している姿が見られました。



見られました。今後、子どもたちに食の大切さを知らせるにはどのような方法が良いのかと職員一丸となつて考え、保育にあたっていききたいと思えます。

警察官が牛ヶ谷保育園にやってきました!



毎月行っている避難訓練ですが、一月には不審者訓練があり、警察署の方がお話に来てくださいました。

不審者訓練の内容は、ホール(一番端の大きいお部屋)で三・四・五歳児が朝の会を行っている際に不審者が侵入し、そこから各クラス以外の避難所まで避難をするという設定で行いました。不審者役はバスの運転手さんをお願いし、扮装した姿に子どもたちは驚き!泣き出してしまいう子もいました。先生たちも迫真の演技で、本番さながらに行うことができました。また、不審者訓練の様子を見ていた警察署の方にアドバイスをいただくことができました。

訓練の後には、ホールにて警察署の方のお話。「おかしも」のお約束を楽しく分かりやすく説明していただき、子どもたちも真剣な表情で聞いたり、大笑いしたり、と話に引き込まれていました。警察署の方を呼んでの不審者訓練は今回が初めてでしたが、今後も行なっていきたいと思えます。本物の警察官に目を輝かせている子どもたちの姿を見ると、未来の警察官が生まれるきっかけにもなったのではないかと思います。



「おかしも」とは・・・? 避難時の心構えの合言葉です。「お」押さない・「か」駆けない・「し」喋らない・「も」戻らない

二園の交流

開始二年目



二園の年長児を対象とした交流会ですが、昨年度から開始し、一年が経ちました。卒業後、各々の小学校へ上がった新たな友だちも増え、子どもたちの社会性も広がります。保育園のうちから、環境や地域性の違うところで育った新たな友だちとの出会い、関わりを通して豊かな社会性を養いたいという想いから交流会をスタートさせました。

今年度の年長児は各園十七名おり、四月から月一回の交流会ですっかり顔見知りです。八月のお泊り保育では、午後からの活動を二園合同のグループで楽しみました。

ほとんどの子が新しい友だちとすぐに打ち解けている姿が見られますが、中には上手く関われない子もいます。保育者は、その子の気持ちを受け止めながら、自然と関わりが持てるように援助することを心掛けています。「そんな子がいてもいいね!」という気持ちで子どもを見守りながら保育にあたっています。

交流会での経験を通して、世の中には様々な人がいること、その中で人との関わり方を学んだり、相手を思いやる心をも身につけて欲しい。そんな願いを込め、今後も続けていきたいと思えます。



頑張る人、応援します

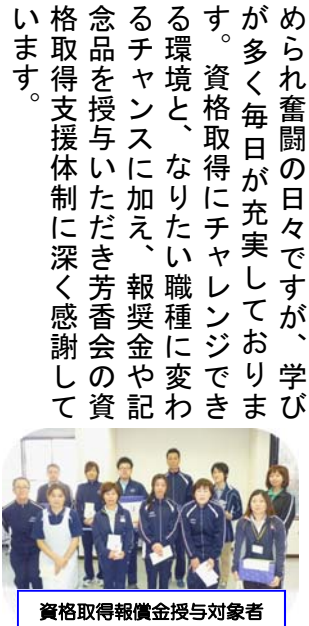
平成二十四年十二月十四日、資格取得報奨金及び永年勤続記念品授与式を行いました。

勤続三十年



青嵐荘路のとう舎 赤羽係長
私が今こうして勤務できていることは、初代理事長をはじめ、現理事長、上司、同僚に恵まれて出来たものと感謝致します。この間、私生活では三人の子供を授かり、仕事と育児の両立にはかなり苦労しましたが、法人に理解があったお陰で無事に育てあげることができました。今後は、施設の利用者の方々と関わりながら、いくつになっても学ぶことを忘れずに前に進んでいきたいと思っています。

社会福祉士資格取得
青嵐荘特別養護老人ホーム 古澤相談員
昨年、芳香会の資格取得支援のもと家族や職場の理解と協力を受け、社会福祉士の資格を取得することができました。以前から希望していた介護員から相談員への職種変更も叶い、六月から新米相談員として仕事をしています。ご利用者、ご家族、地域住民への専門的な支援が求められ奮闘の日々ですが、学びが多く毎日が充実しております。資格取得にチャレンジできる環境と、なりたい職種に変わるチャンスに加え、報奨金や記念品を授与いただき芳香会の資格取得支援体制に深く感謝しています。



資格取得報奨金授与対象者

「家族と楽しい時間を過ごす」

平成二十年度より、職員福利厚生としてお楽しみくじや家族に感謝デーを実施しており、毎回多数の職員に応募いただいております。当選した方々に感想を頂きました。

【ディズニールゾートパスポート】

芳香会病院青嵐荘療育園 山中看護師
家族みんなで行きたいと思い応募しました。当選して娘がとても喜んでおり、私も嬉しかったです。楽しい時間を家族と過ごすことが出来、リフレッシュになりました。チケットを頂き有難うございました。今後もお楽しみくじが継続されると良いです。

【古河市花火大会観覧席】 ケア・アシスタンス 原田介護支援専門員

花火という事もあり、子どもが大喜びをしておりました。主人はこの企画に「おもしろそうだね」と興味を示していました。寝ころびくつろぎながら、指定席での醍醐味を十分堪能することが出来ましたことを感謝します。お楽しみくじを心待ちにしている同僚も沢山おりますので、これからも継続してほしいと思います。

【東武動物公園ワンデイパスポート】 託児所ひばり 照沼保育士

小学生の男の子二人なので絶叫マシーンに乗って盛り上がっていました。ホワイトライオンもお目当ての一つだったようでとても喜んでいました。楽しい休日を通ぐ事が出来、有難うございました。お楽しみくじは毎回工夫されており良いと思います。続けて欲しいです。

チャレンジ☆ 雇用障害者の活躍

芳香会では、現在、九名の障害者が元気に働いています。

皆さん、障害者が働くということをどう感じられますか？ 雇用障害者の仕事振りをみても健常者との能力と差異は殆どありません。ただ、自分で判断し動くことが少し苦手なだけ、『雇用障害者サポート事業』はその苦手な部分を少しでもサポートし、更なる可能性を広げる（能力開発）事を目的とし活動しています。



お掃除頑張っています

平成二十四年十一月三十日に取り組んだワックス掛けもサポート事業の一環として行った活動です。

皆さん、初めてワックス掛けをする方が殆どで、特に興味を示したのは床を洗浄するため使用するポリッシャーでした。普段の業務の中で機械を扱うことは殆どなく、最初はポリッシャーに振り回され、何度も壁にぶつけ指導を受けました。しかし、学ぼうとする熱心な姿勢により、みるみるうちに機械を操ることが出来るように。反省会では、全員が新たな取り組みに興味を持ち、「また、ワックス掛けがしたい」等の発言をされていたのが印象的であり、今回の目的である雇用障害者一人一人の更なる可能性が少し垣間見えた瞬間でした。

私たちは今後も継続的に『雇用障害者サポート事業』を展開し、本人の能力を引出し、本人に適した就業へ結び付けていきたいと思っています。



昼食の後、理事長と歓談

